【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公表番号】特表2006-520418(P2006-520418A)
【公表日】平成18年9月7日(2006.9.7)
【年通号数】公開・登録公報2006-035
【出願番号】特願2006-506258(P2006-506258)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　8/28　(2006.01)
Ｃ０９Ｆ　1/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ　11/02　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　8/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｄ　161/34　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　8/28　Ｚ
Ｃ０９Ｆ　1/00
Ｃ０９Ｄ　11/02
Ｃ０８Ｇ　8/00　Ｅ
Ｃ０９Ｄ　161/34

【手続補正書】
【提出日】平成19年1月24日(2007.1.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
樹脂の製造プロセスであって、前記プロセスは高温で反応物質を反応させることを含み、前記反応物質は、ロジン、脂肪酸、アルデヒド及び、アルデヒド反応性に関して少なくとも三官能性であるフェノール性化合物を含み、ここで少なくとも三官能性である前記フェノール性化合物は、樹脂を形成するのに使用する全フェノール性化合物の少なくとも２５重量％を構成し、且つ前記脂肪酸がトール油脂肪酸、モノマー又はそれらの混合物である、前記プロセス。
【請求項２】
フェノールが前記フェノール性化合物の少なくとも３５重量％を構成する、請求項１に記載のプロセス。
【請求項３】
フェノールが前記フェノール性化合物の少なくとも５５重量％を構成する、請求項１に記載のプロセス。
【請求項４】
ロジンが前記反応物質の３５～８５重量％を構成する、請求項１に記載のプロセス。
【請求項５】
ロジンが前記反応物質の３５～７０重量％を構成する、請求項４に記載のプロセス。
【請求項６】
前記脂肪酸が前記反応物質の５～６５重量％を構成する、請求項１に記載のプロセス。
【請求項７】
前記脂肪酸が前記反応物質の５～４０重量％を構成する、請求項６に記載のプロセス。

【請求項８】
前記アルデヒドが前記反応物質の２～４０重量％を構成する、請求項１に記載のプロセス。
【請求項９】
前記アルデヒドが前記反応物質の５～１５重量％を構成する、請求項８に記載のプロセス。
【請求項１０】
フェノール性化合物が前記反応物質の１～５０重量％を構成する、請求項１に記載のプロセス。
【請求項１１】
フェノール性化合物が前記反応物質の５～１５重量％を構成する、請求項１０に記載のプロセス。
【請求項１２】
前記脂肪酸がトール油脂肪酸(TOFA)である、請求項１に記載のプロセス。
【請求項１３】
前記脂肪酸がモノマーである、請求項１に記載のプロセス。
【請求項１４】
前記アルデヒドがホルムアルデヒドを含む、請求項１に記載のプロセス。
【請求項１５】
前記ロジンがガムロジンを含む、請求項１に記載のプロセス。
【請求項１６】
前記ロジンがトール油ロジンを含む、請求項１に記載のプロセス。
【請求項１７】
前記反応物質がさらにポリオールを含む、請求項１に記載のプロセス。
【請求項１８】
前記ポリオールが前記成分の１～１５重量％を構成する、請求項１７に記載のプロセス。
【請求項１９】
前記ポリオールがペンタエリスリトールを含む、請求項１８に記載のプロセス。
【請求項２０】
前記反応物質がさらに、α,β-オレフィン性不飽和カルボニル化合物を含む、請求項１に記載のプロセス。
【請求項２１】
前記α,β-オレフィン性不飽和カルボニル化合物が前記成分の０．１～８重量％を構成する、請求項２０に記載のプロセス。
【請求項２２】
前記α,β-オレフィン性不飽和カルボニル化合物が無水マレイン酸を含む、請求項２１に記載のプロセス。
【請求項２３】
請求項１に記載のプロセスにより製造した樹脂。
【請求項２４】
請求項１に記載のプロセスにより製造した樹脂と溶媒とを含むニス。
【請求項２５】
前記溶媒が炭化水素である、請求項２４に記載のニス。
【請求項２６】
請求項２３に記載の樹脂を含むリソグラフィックインク。
【請求項２７】
請求項２３に記載の樹脂を含むグラビアインク。
【請求項２８】
樹脂酸、脂肪酸、アルデヒド及び、アルデヒド反応性に関して少なくとも三官能性であるフェノール性化合物を含む反応物質を高温で反応させることを含む樹脂の製造プロセスで

あって、ここで前記脂肪酸は列記された前記反応物質の重量の少なくとも５重量％を構成し、且つ前記樹脂は少なくとも１０５℃の軟化点を有し、且つ前記脂肪酸がトール油脂肪酸、モノマー又はそれらの混合物である、前記プロセス。

【請求項２９】

前記樹脂が少なくとも１２０℃の軟化点を有する、請求項２８に記載のプロセス。

【請求項３０】

前記脂肪酸が列記された前記反応物質の重量の少なくとも１５重量％を構成する、請求項２８に記載のプロセス。

【請求項３１】

前記脂肪酸が、列記された前記反応物質の少なくとも２０重量％を構成する、請求項２８に記載のプロセス。

【請求項３２】

請求項２８に記載のプロセスにより製造した樹脂。

【請求項３３】

請求項３２に記載のプロセスにより製造した樹脂と溶媒とを含むニス。

【請求項３４】

前記溶媒が炭化水素である、請求項３３に記載のニス。

【請求項３５】

請求項３２に記載の樹脂を含むリソグラフィックインク。

【請求項３６】

請求項３２に記載の樹脂を含むグラビアインク。